

2016年5月

教育関係者各位

「Do★Math 同志社中学校数学博物館」開設のお知らせ

同志社中学校数学科

私たちは、算数・数学を手に触れたり、パズルやゲームでわかりやすく、そして楽しみながら理解できる「Do★Math 同志社中学校数学博物館」を2016年5月にオープンいたしました。

本校は2010年、現キャンパスへの移転を機に、教科センター方式という学校運営方式を採用し、全教科が教科専門教室を持つことになりました。数学科も6つの数学教室と教科オープンスペースであるメディアスペースを持ち、徐々に生徒の自由研究作品、教材の展示を充実してきました。今回、2階、3階にある数学メディアスペースを中心に、数学ゾーンにさまざまな教材や生徒作品を展示し、「Do★Math 同志社中学校数学博物館」として、算数・数学の魅力を発信していこうと考えました。

展示内容の多くは本校教員の製作物、生徒の授業発表や自由研究作品です。実際に体験したり、手で触って学べるものとしては、2進法を利用した誕生日当てゲーム、展開・因数分解やピタゴラスの定理（三平方の定理）をわかりやすく理解できるパズルなどがあります。見て楽しめるものとしては、2のn乗の量感を具体的な事物で表現した展示や、平方根の大きさを実感できる「ルートメジャー」、円周率ポスターなどがあります。昔、使用されていた携帯そろばんや鯨尺のものさし、計算尺も紹介しています。また、数学教室には数学者、科学者の名前が付き、入り口には彼らを紹介したパネルを掲示しています。詳細については、リーフレット(pdf)をご覧ください。

これらの展示内容について、国内外の算数・数学に関する博物館の展示内容、展示方法を参考にしております。国内では、数学者秋山仁氏が東京理科大学に作られた「数学体験館」やパナソニック「リスピーア」を始め、各地の科学館や博物館、海外ではドイツやアメリカにある数学博物館を実際に見に行き、情報を得て、アイデアを探しました。実際に、これらの科学館、博物館が作成、販売されているものを購入し、展示の一つとして紹介しているものもあります。

本施設は、通常は本校生徒及びオープンキャンパス等の学校広報イベントの際に公開しておりますが、見学をご希望の方はお気軽にご連絡ください。今後、公開日を設け、小学生の皆さんに見て触れて楽しんでもらえる機会をご案内していきます。

私たちは、本施設が本校生はもちろん、広く小中高生、教育関係者、一般市民の方にも公開することにより、数学、科学のすそ野を広げることに寄与できることを願うものです。

<お問い合わせ>

同志社中学校数学科 担当 園田 毅 (t-sonoda@js.doshisha.ac.jp)

〒606-8558 京都市左京区宝ヶ池

TEL:075-781-7253 FAX:075-781-7254